

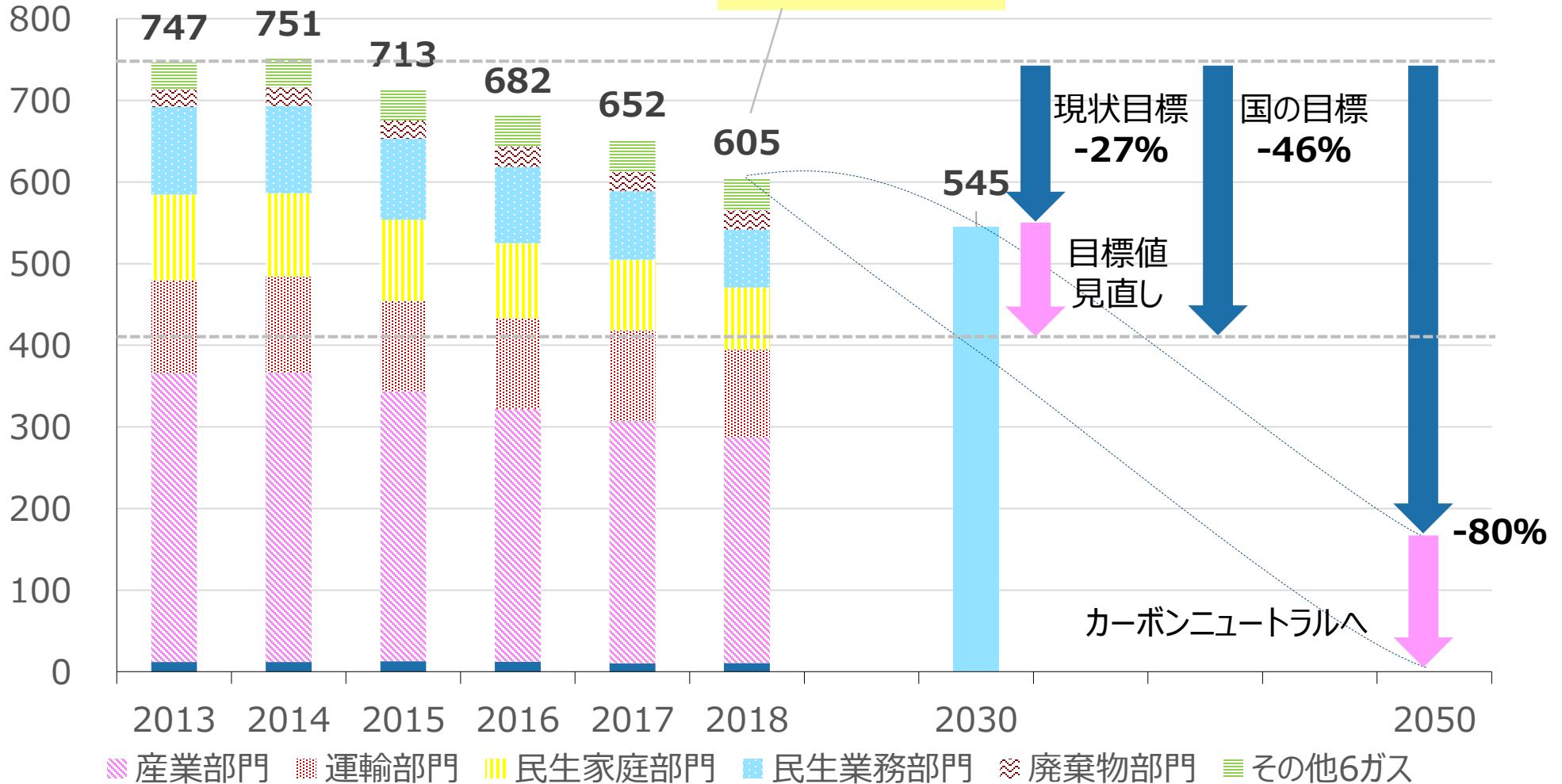
# 堺市地球温暖化対策実行計画改定に係る検討資料

令和3年11月2日  
堺市 環境エネルギー課

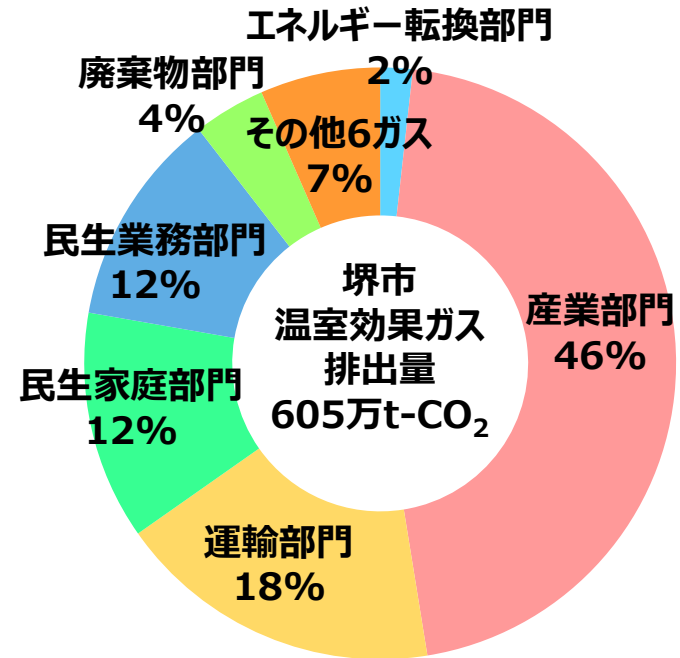
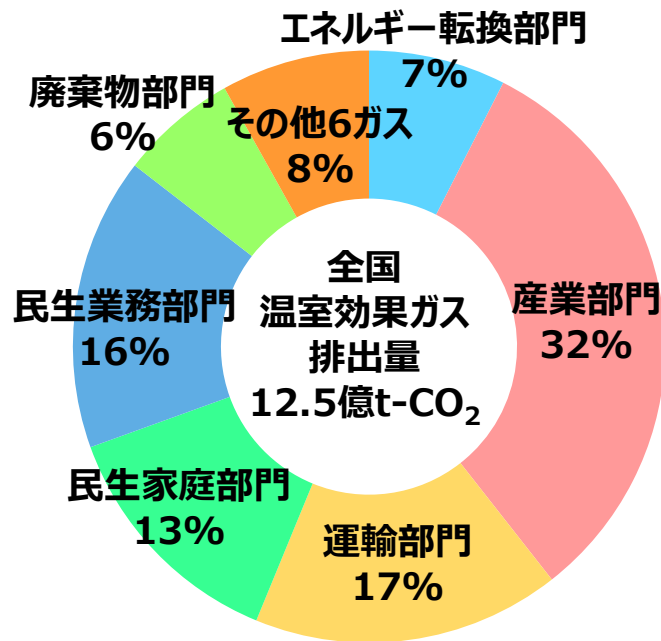
# 市域の温室効果ガス排出量削減目標

## ■ 堺市における温室効果ガス排出状況

[万t-CO<sub>2</sub>]

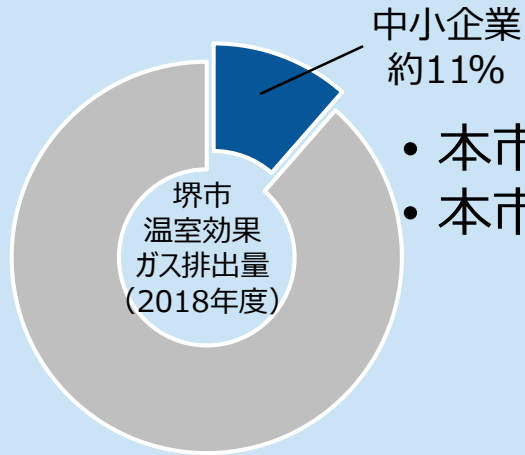


## ■ 部門別温室効果ガス排出量の比較（2018年度）

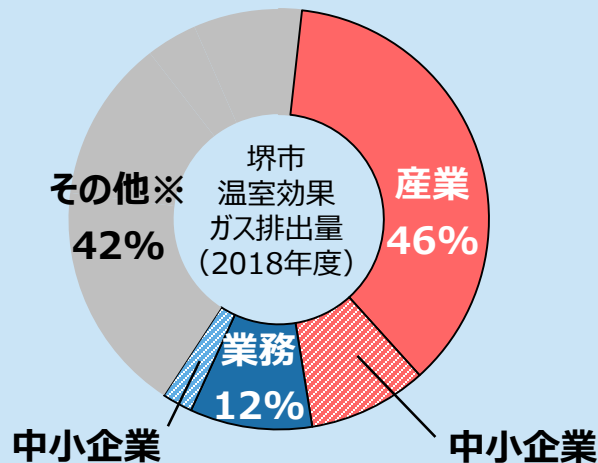


➡堺市の産業部門の占める割合は**全国より大きい**。

## ■ 堺市における中小企業の温室効果ガス排出量



- 本市では市内企業の99%以上が中小企業。
- 本市における中小企業の温室効果ガス排出量は約1割を占める。

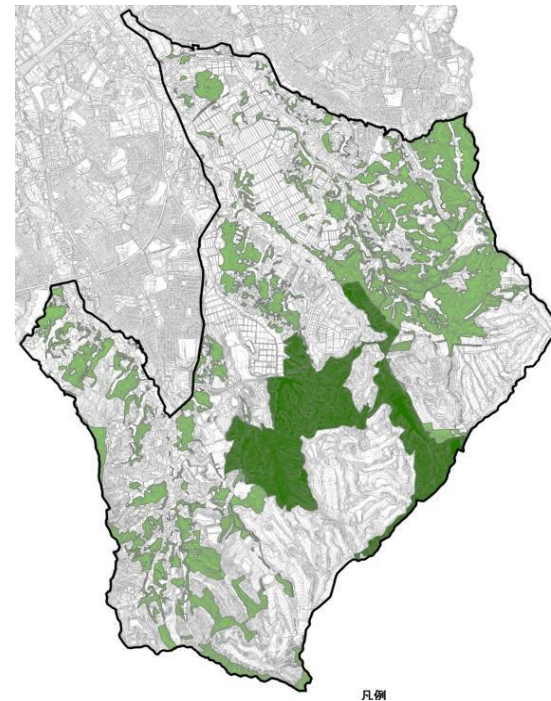


- 省エネ法では、大規模工場・事業所を対象としており、全体の約8割をカバー。  
⇒残りの約2割を中小企業と想定。  
(産業部門:46%+業務部門:12%) × 0.2 = 11.6%

※その他：エネルギー転換部門、廃棄物部門、メタン、一酸化二窒素、フロンガス類の合計

# 【補足】森林吸収の効果

## ■ 南部丘陵エリアにおけるのCO<sub>2</sub>吸収効果



堺市における  
保全緑地エリア

濃い緑エリア  
(約160ha)

薄い緑エリア  
(約340ha)

合わせて…  
約500ha

構成されている木は主に広葉樹であると仮定し、  
平均的な量を算定すると…

年間吸収量

**約550t-CO<sub>2</sub>**

1. 国連が示した「**2030年度までに2010年度比45%減**」という全世界平均。

堺市 45% (2010年度比) → 50% (2013年度比) ※

※国連の2010年度比45%削減目標から2013年度比の削減率を算定

2. 国の地球温暖化対策計画（案）では、

「我が国の中期目標として、2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することをめざす。**さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく。**」

としている。

## ■堺市における多量排出事業者の温室効果ガス排出量トップ10（2015年度）

1. A工場【石油製品・石炭製品製造業】（81.4万t-CO<sub>2</sub>）
2. B工場【石油製品・石炭製品製造業】（75.0万t-CO<sub>2</sub>）
3. C工場【電子部品・デバイス電子回路製造業】（57.3万t-CO<sub>2</sub>）
4. D工場【鉄鋼業】（24.9万t-CO<sub>2</sub>）
5. **堺市（22.6万t-CO<sub>2</sub>）**
6. E工場【鉄鋼業】（16.8万t-CO<sub>2</sub>）
7. F工場【鉄鋼業】（13.3万t-CO<sub>2</sub>）
8. G工場【化学工業】（13.1万t-CO<sub>2</sub>）
9. H工場【窯業・土石製品製造業】（11.5万t-CO<sub>2</sub>）
10. I工場【鉄鋼業】（11.2万t-CO<sub>2</sub>）

## ■堺市の事務事業から排出される部門別温室効果ガス排出量

2020年度 (t-CO <sub>2</sub> )		
エネルギー起源	業務オフィス等	38,756
	廃棄物処理施設	12,533
	上下水関連施設	18,916
	車両	1,426
	小計	71,631
非エネルギー起源	ごみ焼却	121,675
	下水処理	5,360
	小計	127,035
<b>合計</b>		<b>198,666</b>

